



発行日：平成29年06月30日

本格的な夏はこれから。疲れを身体に残さないようにして、元気に夏を過ごしましょう

* プールが始まります。

登園前、毎朝の体調チェックをお願いします。

- ・熱は平熱ですか？
- ・下痢はしていませんか？
- ・咳や鼻水は出ていませんか？
- ・皮膚に異常はありませんか？
- ・目の充血や目やにはありませんか？
- ・朝ご飯は食べられましたか？
- ・前の晩よく眠れましたか？

気になる皮膚疾患(とびひや浸出液が出る湿疹など)や、長引く鼻水などがあるお子様は、早めに受診し治療を済ませておきましょう



今年はプール熱の流行が心配されています

夏風邪のひとつプール熱(咽頭結膜熱)の感染者が、国内で過去10年のこの時期と比べ最多になっているそうです。

プール熱はアデノウイルスが原因で起こり、高熱、のどの痛み、目の充血(結膜炎)が特徴的な症状ですが、頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うことも。

治療は対症療法が主で、高熱に解熱剤、結膜炎には点眼薬が処方されます。

気になる症状がみられたら、早めに受診しましょう。

プール熱と診断されたら、主な症状が消えた後2日経過するまで登園できません。登園時には医師による意見書の提出が必要になります。ご協力よろしくお願いします。

夏風邪といわれるものにはプール熱の他にヘルパンギーナ、手足口病があります。

ヘルパンギーナ・・・高熱、のどの痛み(のどには小さな水ぶくれができます)がみられます

手足口病・・・主に手の平、足の裏、口の中に小さな発疹や水ぶくれができます。高熱が出ることもあります。

ヘルパンギーナと手足口病は、登園届の提出が必要になります。

食中毒にご注意を！

食中毒は6～9月にかけて多く発生します。細菌の活動しやすい湿度と温度がそろっている為です。家庭では新鮮なものを購入し、冷蔵庫は詰めすぎないようにしましょう。まな板や包丁は熱湯消毒をし、食べ物は十分に加熱しましょう。また、食べる前には必ず手を洗いすみやかに食べるなど心がけましょう。

食中毒が疑われる時は、むやみに市販薬を使わないで早めに受診するようにしましょう。

6月6日、幼児クラスを対象に歯科指導がありました

それぞれのクラスで、歯科衛生士の方から大事な歯を虫歯にしないための“お約束”が話されました。

- ・夜寝る前に歯磨きをしましょう(寝ている間虫歯菌がいっぱいになってしまいます)
- ・おやつは時間を決めて食べましょう
- ・好き嫌いせず何でも食べましょう(乳歯の下には大人の歯が作られています)

すみれぐみのお友だちの中には、大人の歯が生え始めている園児もありました。でも、小学校2～4年生になる頃、虫歯になってしまう子供が増えてくるそうです。この頃になると、大人による仕上げ磨きの機会が減ることも原因のひとつのお話でした。一生使う歯です。大事にしたいですね！



7月の保健行事

- 5日(水)乳児検診
- 6日(木)身体測定

